

平成29年度事業報告

I 事業

中小企業のニーズに応え各種支援事業を実施するなど、名古屋市と密接に連携し、公益財団法人として、産業振興施策を推進した。

具体的には、先端技術研究開発の支援やプラズマ技術の産業応用支援に努めたほか、中小企業経営や創業・新事業等に関する相談・研修事業、中小企業の技術者の養成のための産業人材育成事業、工業技術に関する情報提供事業等を実施した。

また、指定管理者として、名古屋市中心企業振興会館、名古屋市国際展示場などを管理運営し、利用率の向上に努めた。

【公益目的事業の実施】

1	先端技術研究開発推進事業	決算額	58,065 千円
---	--------------	-----	-----------

なごやサイエンスパーク内の研究開発センターを地域の研究機関等に提供し、産業応用を見据えた先端技術の研究開発を支援した。

なごやサイエンスパーク研究開発センターの研究団体及び研究テーマ

- ・ 国立研究開発法人理化学研究所
「生物制御に基づくロボットの自律制御に関する研究」
- ・ 公益財団法人名古屋産業科学研究所
「シリコンカーバイドの単結晶を用いた超硬工具の研究開発」
- ・ 公益財団法人名古屋産業振興公社
「テラヘルツ光技術の産業応用に関する研究」

2	プラズマ技術産業応用支援事業	決算額	47,229 千円
---	----------------	-----	-----------

プラズマ技術産業応用センターにおいて、知的クラスター創成事業による研究成果等を活用し、中小企業の技術革新を進めるため、専門的知識・経験を有するテクニカルコーディネーター及びサブテクニカルコーディネーター等を配置し、名古屋市工業研究所の参画や関係大学の協力の下、中小企業等の様々なニーズにきめ細かく対応した技術相談や可能性トライアルによるテスト処理・分析を実施し、研究開発等を行った。

年4回 PLACIANEWS を発刊するなど、プラズマ技術の情報発信を通して、プラズマ技術によるものづくり技術の高度化の支援に努めた。

また、プラズマ技術の産業応用に関心のある企業を会員としたプラズマが拓くものづくり研究会（略称「PLAM」）において、講演会等の実施によるプラズマ技術の普及啓発を推進した。さらに賛助員支援事業として、賛助員無料半日トライアルを行い地域企業のプラズマ技術の応用範囲拡大の為の支援をした。

(1) プラズマ技術産業応用センターの運営

ア プラズマ技術に関する技術相談窓口

専門的知識・経験を有する職員を配置し、企業からの技術相談に対応した。

技術相談 120社 438件

イ テスト処理・分析

企業からの依頼に応じて、プラズマ技術を用いた材料開発や高機能化のための試作を支援した。

機器利用件数 30社 569件

ウ 協賛員の募集

技術相談やPLAM講演会において、協賛員募集のチラシ配布や説明を行った。

協賛員数 13社 23口

エ 可能性トライアルの実施

中小企業等のプラズマ技術応用に関する研究開発を企業の経費負担によって行い、技術的課題の解決を図った。

可能性トライアル数 9社 20件

オ プラズマ技術産業応用センター運営会議の開催

業界団体役員、有識者等を委員とした運営会議を設置し、プラズマ技術産業応用センター事業の戦略等について議論し、運営に反映した。

開催回数 1回

カ プラズマ技術産業応用センターの情報誌発行

PLAM会員及び関係機関の担当者に対し、プラズマ技術産業応用センター及びプラズマ技術に関する情報を年4回提供した。

キ 公社賛助員無料半日トライアル

公社賛助員企業への無料半日トライアル事業を行った。

企業数 5社

(2) PLAMの運営

会員企業 425社

講演会開催 4回 (うち実習2回)

参加者 214人

3

共同研究事業	決算額	192,492千円
--------	-----	-----------

中小企業のものづくり基盤技術の高度化を図るため、基盤技術を担う中小企業、研究機関等の研究開発事業の運営管理及び研究開発を行った。

(1) 戦略的基盤技術高度化支援事業 (※経済産業省の補助事業)

- ・テーマ 「大変形に対応し安全性を向上した鉄道車両用連結部内装パネルの試作開発」 (平成28～29年度事業)
- ・テーマ 「めっきの多層化とグラフェン複合銀めっきによる大電流電気接点用めっきの開発」 (平成29～31年度事業)
- ・テーマ 「高性能窒化ホウ素膜のプラズマコーティング技術を用いた革新的切削工具と製造装置の開発」 (平成29～31年度事業)
- ・テーマ 「ロボット摩擦重ね接合法 (FLJ) による金属/CFRPの直接異材接合の製品化に向けた最適制御を伴う高機能ロボットFLJシステムの研究開発」 (平成29～31年度事業)
- ・テーマ 「人間工学に基づくデザイン設計と三次元積層造形技術で挑むカスタムメイド人口股関節の開発と事業化」 (平成29～31年度事業)

(2) 研究成果展開事業(スーパークラスタープログラム)

(※国立研究開発法人科学技術振興機構の委託事業)

- ・テーマ 「先進プラズマナノ表面改質技術・装置の開発」 (平成25～29年度事業)

4	研究開発促進事業	決算額	29,247千円
---	----------	-----	----------

(1) 産学行政連携支援事業

ア 研究会の開催

(ア) 環境分野

- ・資源循環型ものづくり研究会
開催 2回、参加者 95人

(イ) 医療・福祉・健康分野

- ・ヒューマンインターフェイス研究会
開催 1回、参加者 88人

- ・人工関節研究会
開催 1回、参加者 50人

(ウ) 情報分野

- ・名古屋オープンイノベーション研究会 (N-ova)
開催 2回、参加者 329人

(エ) ものづくり技術分野

- ・CAEを活用したものづくり研究会
開催 1回、参加者 65人

- ・テラヘルツ波産業応用研究会
開催 1回、参加者 49人

(オ) デザイン分野

・ものづくりデザインプラットフォーム

開催 2回、参加者 173人

(2) 医療介護機器・ロボット開発普及促進事業

講演会等 11回、405人

分科会 5回、5社

展示会出展 4回

(3) 名古屋市中小企業イノベーション創出プロジェクト

「IoT・新技術応用研究会」(※名古屋市の運營業務委託)

参加者 41人

全体指導 5回、122人

個別指導 234件

見学会 1回、7人

5	新事業創出支援事業	決算額	154,025 千円
---	-----------	-----	------------

(1) 相談、専門家派遣、創業研修事業等

ア 相談事業

中小企業の経営や創業等を支援するため、プロジェクトマネージャー等を設置し、窓口相談や企業訪問によるアドバイス等を行ったほか、小規模企業経営力強化支援事業として経営アドバイザーを配置し、厳しい経営環境に直面している小規模企業者を対象に訪問等による各種相談を行った。また、女性向け経営アドバイザーを設置し、女性の創業希望者及び女性経営者等の相談に対応した。

相談企業 504社・者

相談等延件数 1,522件

上記のうち、経営アドバイザー及び女性経営アドバイザーが行った相談件数等。

経営アドバイザー

相談企業 141社・者

相談件数 209件

女性向け経営アドバイザー

相談企業 137社・者

相談件数 293件

イ 専門家派遣事業

(ア) 専門家派遣(経営改善・創業・新事業)

経営改善等に取り組む中小企業に対して、中小企業診断士等の専門資格を持つ人材を派遣し、現場で実践的な支援を行った。

派遣企業 106社

派遣回数 282回

(イ) 専門家派遣（工業技術・技能指導）

中小企業の技術力の向上を図るため、退職した民間の熟練技術者等を指導者（テクノアドバイザー）として広く募集・登録し、中小企業からの依頼に応じて派遣することにより、生産現場における技術的課題の解決を支援した。

派遣企業 4社

派遣回数 32回

ウ 創業研修事業

創業セミナー&交流会

開催日 平成29年10月27日

場所 名古屋ビジネスインキュベータ白金

対象 創業に関心のある方、創業を目指している方等

参加者 17名

内容 創業時に必要な情報や創業の魅力等について

エ 新事業創出支援機関の連携促進

名古屋市内に拠点を置く新事業支援機関(22支援機関)の連携を図るため、名古屋市新事業創出連絡会議(あいち新事業活動促進連携会議と合同)を開催した。

(2) ビジネスマッチング事業

ア ビジネスプラン発表会の開催

新事業に取り組む中小企業の販路拡大や事業提携を支援するため、事業計画を発表する機会を提供した。

プラン発表企業 2社

発表会参加者 119人(公益財団法人あいち産業振興機構等と共催)

イ 中小企業見本市等出展支援事業

市内中小企業者の首都圏・関西圏への見本市出展に助成を行い、販路開拓を支援した。

出展支援企業 7社

ウ 中小企業支援フォローアップ強化事業

新事業支援センターのマネージャーを推進役として、金融機関、大学、研究機関等との連携を強化するための会合を開催した。

「気づきの場」(情報収集、各機関との交流の機会の提供)

開催回数 1回

参加者 83人

(3) 創業支援施設の入居企業への支援

ア インキュベーションマネージャーによる支援

名古屋ビジネスインキュベータ(nabi/金山)、名古屋ビジネスインキュベータ白金(nabi/白金)の入居企業への支援及び誘致を行った。

研修会等の開催 27回

経営相談 229件

また、名古屋医工連携インキュベータにインキュベーションマネージャーを2名配置し、入居者の支援を行った。

イ 創業準備ルームの開設及び運営

名古屋ビジネスインキュベータ白金において、市内での創業予定者に6か月間無料でブースを提供するとともに、創業マネージャー等による研修及び相談支援を行った。

第13期・第14期利用者 17名

平成29年度創業者 14名

6	普及啓発・情報提供事業	決算額	131,793千円
---	-------------	-----	-----------

(1) 普及啓発事業

ア 市民向け啓発事業（なごや・サイエンス・ひろば）

市民とりわけ子ども達に科学技術に対する理解と関心を深めてもらうため、なごやサイエンスパーク内の研究施設の一般公開、研究内容・成果の紹介、科学技術に関するイベント等を開催した。

開催日 平成29年8月5日

場所 サイエンス交流プラザ、先端技術連携リサーチセンター、
国立研究開発法人産業技術総合研究所、名古屋市消防学校

参加者 2,702人

イ 研究成果普及啓発事業

なごやサイエンスパークに集積する研究機関・企業などの研究者・技術者に向けて研究成果の発表や交流の場を提供することで、研究成果の普及を図るとともに産学行政の連携活動を支援した。

なごやサイエンスパーク連携推進会議の開催 1回、16名

サイエンスカフェの開催 1回、45名

ウ 「ナゴヤファッションコンテスト2017」の開催

ファッション業界における新しい才能の発掘と育成に寄与するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションクリエイターを志す国内外の学生、社会人等を対象としたファッションコンテストを開催した。

開催日 第1次審査会 平成29年6月5日

最終公開審査会 平成29年9月14日

場所 第1次審査会 品川区立総合区民会館

最終公開審査会 ナディアパーク デザインセンタービル
(デザインホール)

応募作品 4, 007点 (うち海外からの応募作品269点)

来場者 696人 (最終公開審査会)

(2) 情報提供事業

ファッション関連企業、デザイナーなどファッションを取り巻く様々な立場の人を対象にトレンド情報等を提供するため、ナゴヤファッション協会と共同で、ファッションセミナーを開催した。

開催 7回

参加者 823人

(3) 異業種交流グループの活動支援

異なった事業を行う中小企業が、相互に有する技術や市場に関する経験を活かし、技術交流と知識の融合化を促進する場を提供した。

講習会・講演会 12回

優良企業の見学会・交流会 26回

他都市の先端企業の見学会・交流会 4回

会員交流会等 7回

(4) ものづくり技術講演会・工業技術グランプリの開催

中小企業の技術開発力の向上を図るため、「自動車の軽量化技術と電動化」をテーマとした、ものづくり技術講演会を開催した。

また、当地域で開発された優秀な新技術・新製品を表彰する工業技術グランプリを実施した。

ア ものづくり技術講演会

開催日 平成30年2月15日

場所 名古屋市工業研究所

参加者 309人

イ 工業技術グランプリ

表彰式開催日 平成30年2月15日

場所 名古屋市工業研究所

受賞企業 15企業

(5) 情報提供・交流フロアの運営

産業技術図書館において、内外の技術図書、技術情報誌、技術資料(約4万冊)を無料で閲覧に供した。

また、技術情報交流の場として、情報交流フロアの運営を行った。

図書館来館者 3, 943人

情報交流フロア利用者 12, 564人

(6) 見本市・展示会の開催支援

名古屋国際見本市委員会事務局を運営した。

(名古屋国際見本市委員会の展示会)

ア 第20回国際福祉健康産業展～ウェルフェア2017～の開催

開催日 平成29年5月18日～20日
場 所 ポートメッセなごや
出展者 168社・団体
来場者 73, 767人
内 容 福祉車両をはじめ、福祉用具、健康機器等の紹介・展示

イ 第5回中部ライフガードTEC2017～防災・減災・危機管理展～の開催

開催日 平成29年5月18日～19日
場 所 ポートメッセなごや
出展者 124社・団体
来場者 19, 914人
内 容 「南海トラフ地震対策中部圏戦略会議」と共催で、最新の防災・減災・危機管理に係る製品・技術・サービス等を一堂に展示紹介

ウ 先進建設技術フェアin熊本 及び

九州ライフガードTEC～防災・減災危機管理展～ の同時開催

開催日 平成29年9月20日～21日
場 所 グランメッセ熊本
出展者 238社・団体
来場者 6, 330人
内 容 熊本地震の被災地の皆様への支援の在り方の一つとして、被災地域の生活基盤と産業の復興を目指し、最新の建設技術及び防災・減災・危機管理に関する2つの展示会を、被害が甚大であった熊本県益城町で開催。

エ 建設技術フェア2017in中部の開催

開催日 平成29年10月18日～19日
場 所 吹上ホール
出展者 245技術／272社・団体
来場者 14, 517人
内 容 名古屋国際見本市委員会と国土交通省中部地方整備局主催で、産学間の技術情報交流の場を提供し、技術開発や新技術の導入を図るとともに、建設分野を専攻している学生に技術開発の現状と今後の方向性を伝え、また、建設技術の魅力と社会資本整備の必要性を広く一般の方々に紹介

オ 第7回次世代ものづくり基盤技術産業展

－TECH Biz EXPO 2017－の開催

開催日 平成29年11月15日～17日
場 所 吹上ホール
出展者 189社・団体

来場者 13,582人
 内容 次世代自動車・航空機産業などに活かす新素材・最新加工技術・関連サービス等を紹介

(7) ロボカップ 2017 名古屋世界大会の開催支援

ロボカップ 2017 名古屋世界大会の開催を支援するため、ロボカップ 2017 名古屋大会開催委員会事務局に職員を派遣した。

7	産業人材育成事業	決算額	32,657 千円
---	----------	-----	-----------

(1) ものづくり人材技術・技能スキルアップ支援事業

ものづくり人材の育成、熟練技能者の退職に伴う技能継承など、中小企業の技術開発力強化のための研修・実習等を行った。

ア 中小企業技術者研修

中小製造業の若手技術者が各種技術の基礎理論や応用知識を習得するための実践的な講義・実習

電子回路技術研修など10コース 受講者 134社 161人

イ 中小企業技能者育成講座

熟練技能者の指導により技能士資格に関する訓練等を行う講座

鉄工技能士1級2級受検対策講座など3コース

受講者 53社（個人を含む） 60人

(2) 教育訓練事業

中小企業のものづくり人材を育成するため、産業界が抱える共通の課題に対応するための現場管理者・技術者向け講習会等（ものづくり支援講座6コース）を開催した。

ア 産業用ロボット作業者特別教育講習会

開催 年6回（奇数月隔月） 受講者 144社 239人

イ 現場管理者の生産管理技術（トヨタ生産方式）研修

受講者 13社 24人

ウ 機械設計図面の見方・読み方研修

受講者 21社 36人

エ 機械設計図面の描き方研修

受講者 12社 15人

オ 知的財産担当者養成講座

受講者（前期） 7社 8人
 （後期） 4社 4人

カ 機械系技術者のための「エレクトロニクスの知識」研修

受講者 10社 20人

(3) 技術経営 (MOT) 研修

経営の視点から技術戦略を検討する人材育成のため、(公財) 科学技術交流財団、(公財) 名古屋産業科学研究所と共催でMOT研修を実施した。

受講者 39社 53人

8	工業技術情報提供事業	決算額	8,667 千円
---	------------	-----	----------

(1) 新春講演会・懇親会の開催

開催日 平成30年1月26日

場 所 キャッスルプラザ

内 容 「リニア・インパクト」～リニアで名古屋はどう変わる?～
講師 名古屋学院大学現代社会学部教授 江口 忍 氏

参加者 129人

(2) 情報提供

ア 先進工場見学会の開催

開催日 平成29年12月6日

場 所 日本ガイシ(株)小牧事業所、IKEA弥富物流センター

参加者 30人

イ 「技術のひろば」の発行

発行 2回 発行部数 各1,500部

ウ 商品展示・カタログ展示

(ア) 商品展示

展示場所・企業数 ナディアパーク デザインセンタービル 7社

(イ) カタログ展示

展示場所・企業数 名古屋市中小企業振興会館 29社

名古屋市国際展示場 (ポートメッセなごや) 29社

名古屋市工業研究所 30社

エ TECH Biz EXPO 2017における賛助員の出展等を支援

賛助員コーナー設置 12社13小間出展

オ 賛助員に対するメールマガジンの配信

毎月1日、15日頃配信

カ 賛助員及び報道関係者に対する講習会・講演会等の案内発送

毎月10日頃発送

キ 賛助員の企業情報発信機能の強化

公社ホームページのトップページから賛助員企業紹介の検索ページに容易にアクセス出来るようにし、さらに検索機能も強化した。

※参考 賛助員数 267社 (平成30年3月31日現在)

9	経済交流・誘致促進事業	決算額	8,249 千円
---	-------------	-----	----------

外資系企業の名古屋進出を促進するため、名古屋市、愛知県、名古屋港管理組合、名古屋商工会議所が共同で設立した「愛知・名古屋国際ビジネス・アクセス・センター」に職員を派遣し、国、県、名古屋市を始め関係機関と連携した活動を行うことにより、外資系企業の誘致を行った。

外資系企業の誘致件数 12件

10	関係団体事務受託事業	決算額	2,265 千円
----	------------	-----	----------

企業や研究者を会員とする産業技術関係団体が行う研究・技術の交流事業等を支援するため、当該団体からの受託事務を行った。

(1) 異業種交流団体

団体名・代表者	助言者	会員
テクノプラザナゴヤ88 会長 株式会社吉田SKT 代表取締役会長 吉田 由孝	山下 菊丈	30社
テクノプラザナゴヤ001 会長 アサヒ繊維工業株式会社 代表取締役社長 浅井 耕治	愛知学院大学 教授 岩田 憲明	18社
テクノプラザナゴヤ90 会長 萩原電気株式会社 名誉会長 萩原 義昭	株式会社三進製作所 相談役 福田 正	21社
テクノプラザナゴヤ91 会長 複合資材株式会社 代表取締役社長 尾藤 正儀	福田 博行	16社

(2) 各種研究団体

- 中部生産加工技術振興会
- 中部塗装技術研究会
- 中部歯車懇話会
- 中部溶接振興会
- 名古屋テキスタイル研究会
- 日本カム工業会
- 鍍金技術研究会

11	産業振興施設の管理運営	決算額	1,245,191 千円
----	-------------	-----	--------------

(1) 展示施設

施設名	利用件数	利用日数
名古屋市中小企業振興会館		
吹上ホール	88件	254日
第1ファッション展示場	104件	247日
第2ファッション展示場	88件	218日
名古屋市国際展示場		
(ポートメッセなごや)		
第1展示館	23件	93日
第2展示館	74件	202日
第3展示館	75件	232日
デザインホール	144件	228日

(2) 研究開発・支援施設

- ア 名古屋ビジネスインキュベータ、名古屋ビジネスインキュベータ白金
名古屋ビジネスインキュベータ(nabi/金山) 入居23社
(平成30年3月31日現在)
- 名古屋ビジネスインキュベータ白金(nabi/白金) 入居33社
(平成30年3月31日現在)
- イ サイエンス交流プラザ
- インキュベータ入居 8室 (平成30年3月31日現在)
- 大会議室利用 33件
- 中会議室利用 67件

【収益事業等の実施】

1	施設管理附帯事業	決算額	57,496 千円
---	----------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館及び名古屋市国際展示場の施設管理運営に附帯する備品の貸出業務や自動販売機の維持管理を行ったほか、両館で開催されるイベント案内を掲載したイベントカレンダーを作成した。

施設管理附帯事業収益（主なものを掲載）

貸出備品

名古屋市中企業振興会館	40,373 千円
名古屋市国際展示場	42,292 千円

自動販売機収入

名古屋市中企業振興会館（19 台）	13,055 千円
名古屋市国際展示場（29 台）	31,075 千円

2	吹上及び吹上中央帯駐車場の管理運営	決算額	71,205 千円
---	-------------------	-----	-----------

名古屋市中企業振興会館に隣接する名古屋市道路附属物自動車駐車場である吹上及び吹上中央帯駐車場について、指定管理者として管理運営を行った。

II 庶務の概要

1 理事会

第1回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成29年4月1日
	議案	(1) 第1回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について (2) 重要な職員の任命について
第2回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成29年4月1日
	議案	(1) 専務理事の選任について
第3回	期日	平成29年5月24日
	場所	名古屋市中心企業振興会館（会議室）
	議案	(1) 平成28年度事業報告及び決算報告について (2) 特定費用準備資金等の積立てについて (3) 定時評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
	報告	(1) 理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況の報告について
第4回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成29年7月13日
	議案	(1) 第3回評議員会の日時及び場所並びに目的である事項等について
第5回	期日	平成29年9月28日
	場所	名古屋市中心企業振興会館（会議室）
	議案	(1) 平成29年度補正予算について
	報告	(1) 名古屋国際見本市委員会 事務局運営（体制及び会計処理方法）の変更案について
第6回	期日	書面により理事会の決議があったものとみなされる日 平成29年12月20日
	議案	(1) 特定資産取得・改良資金の積立てについて

第7回	期日	平成30年3月22日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	（1）平成30年度事業計画案及び収支予算案について （2）常勤理事の平成30年度の報酬額について （3）公益財団法人名古屋産業振興公社組織及び事務処理規程等の一部改正について （4）特定資産の設置について （5）経営戦略計画の一部改正について
	報告	（1）理事長、副理事長、専務理事及び常務理事の職務執行状況の報告について

2 評議員会

第1回	期日	書面により評議員会の決議があったものとみなされる日 平成29年4月1日
	議案	（1）理事の選任について
定時	期日	平成29年6月14日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議案	（1）平成28年度計算書類等の承認について （2）評議員の選任について （3）理事長の報酬に係る業績評価委員会委員の選定について
	報告	（1）平成28年度事業報告の内容報告について
第3回	期日	書面により評議員会の決議があったものとみなされる日 平成29年7月26日
	議案	（1）評議員の選任について

3 理事長の報酬に係る業績評価委員会

第1回	期日	平成30年2月8日
	場所	名古屋市中小企業振興会館（会議室）
	議題	理事長の報酬に係る業績評価について